

平成31年度

物品購入仕様書

物品名 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車【Ⅱ型】

納入場所 小川消防署嵐山分署

1. 支払方法

- 一括支払（全納品完了後）
※価格（見積り）に含まないもの
- ・重量税
 - ・自賠責保険料
 - ・登録手数料（印紙代含む）
 - ・自動車リサイクル料

2. 事業内容等についての ⇒ 担当課・施設名（ 警防課 ）
問 い 合 わ せ 先 担 当 者 名（ 神谷 ）
電 話 番 号（ 0493-23-2267 ）

設 計 年 月
平成31年3月

平成 3 1 年度

仕 様 書

物 品 名	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車【Ⅱ型】						
納入場所	小川消防署嵐山分署						
実 施 額		円	変更実施額		円		
内 訳	価 格	円	内 訳	価 格	円		
	消 費 税 相 当 額	円		消 費 税 相 当 額	円		
購 入 額		円	変更購入額		円		
概 要	<p>災害対応特殊化学消防ポンプ自動車 1台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホイールベース：3.50メートル以上 3.79メートル以下 ・全長：7.50メートル以下 ・乗車定員：6名 ・駆動方式：4WD ・ミッション：マニュアル ・使用燃料：軽油 ・納入期限：平成32年（2020年）2月7日 						
実 施 理 由	<p>車両の更新 平成32年（2020年）2月で16年経過。</p>						

平成 31 年 度

【 小川消防署 嵐山分署 】

災害対応特殊
化学消防ポンプ自動車

【 II 型 】

仕 様 書

比企広域市町村圏組合

目 次

第 1 総則	1
第 2 シヤシ関係	1
第 3 ポンプ関係	4
第 4 ボディ関係	10
第 5 塗装及びメッキ	12
第 6 警音装置	12
第 7 照明装置・警光灯等	12
第 8 無線機	13
第 9 記入文字	13
第 10 提出図書及び検査	14
第 11 納期	15
第 12 附則	15
取付け品等一覧	16

小川消防署嵐山分署 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車〔Ⅱ型〕仕様書

第1 総則

- 1 本仕様書は比企広域市町村圏組合(以下「当組合」という。)が平成31年度に購入する化学消防ポンプ自動車〔Ⅱ型〕(以下「当車両」という。)の仕様について必要な事項を定めるものとする。
- 2 当車両は、「埼玉県消防施設等整備費補助金交付要綱」(平成19年6月28日消第558号)「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱」(平成19年4月1日消防消第50号)、「国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額」(平成16年総務省告示第281号)「消防用車両の安全基準」(平成19年5月14日、消防消第80号)及び「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」(昭和61年自治省令第24号)を満たすものであり、「道路運送車両法」(昭和26年法律第185号)及び「道路運送車両の保安基準」(昭和26年運輸省令第67号)その他関係法令に全て適合し、緊急車両として承認が得られるものであること。
- 3 製作に使用する全ての材料は、日本工業規格に基づいて精選された耐久性に富むものを使用するものとする。車両、装備品は新規製品とする。
- 4 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施し、製造は品質保持ならびに環境配慮からISO14001取得工場にて製造する。
- 5 当車両については、当組合指定期限までに緊急自動車登録申請書類を当組合へ提出すること。(事務処理経過については、その都度当組合に報告すること。)
- 6 車両は、消防用車両の安全検討委員会が定める「消防車両の安全基準について」の項目を満足し、製造工場については品質管理システム(ISO9001認証取得)を構築していること。

なお、当組合の指示がある場合は、品質管理の証明(ISO9001認証取得)の写しを提出すること。

第2 シヤシ関係

1 シヤシ

- | | |
|------------|-----------------------------|
| (1)シヤシ | 消防車専用シヤシ・4WD(国家検定合格品)低床とする。 |
| (2)ホイールベース | 3.50メートル以上3.79メートル以下 |
| (3)全長 | 7.50メートル以下 |
| (4)乗車定員 | 6名 |

- (5) エンジン種別 ディーゼル
- (6) 総排気量 5,000CC以上
- (7) キャブ キャブオーバー型ダブルキャブ・ダブルシート
- (8) ミッション マニュアル
- (9) 総重量 12, 000kg未満
- (10) 燃料 軽油(100ℓ以上)
- (11) 安全機能 坂道発進補助装置(ESスタート)

2 装備品

- (1) パワーステアリング〔標準品〕
- (2) 電動油圧式キャブチルト〔標準品〕
- (3) エンジン回転計〔標準品〕
- (4) エンジン油温計〔標準品〕
- (5) アワーメーター〔標準品〕
- (6) オイルパンヒーター〔標準品〕のコンネクターは、メタルコンセント(キャップ付)とし、運転席付近で昇降に支障のない位置とする。
- (7) 暖房装置〔標準品〕
- (8) エアコンを装備する。(オート・マニュアルどちらでも可)
- (9) タイヤはオールシーズンラジアルタイヤとする。
(納車時期により、スタッドレスタイヤ装着とする。別途指示。)
- (10) 後退警報器〔標準品〕
- (11) 右左折音声アラーム装置を取付ける。
- (12) ラジオ、デジタル時計〔標準品〕
- (13) フロントのナンバープレートは、アルミまたは、ステンレス製を取付ける。
- (14) スタッドレスタイヤ(ホイール付6本)
- (15) オルタネーターは、24V—80A以上とする。
- (16) バッテリーは、145F51(12v—120AH)2個とする。
- (17) フロアマット

3 取付け品

- (1) 空気呼吸器固定装置を助手席に1基(座席埋込式)、後部座席後面に4基設けること。なお、後部座席背もたれは、カット式とする。
- (2) 後部座席下部に、工具及び予備空気ポンペを収納できるスペースを設け、取り出し方法は、容易な方式とする。

- (3) 背もたれ及び座面の全てのシートに、耐久性に優れ、汚れが簡単に拭き取れる防汚シートカバーを取付けること。
- (4) 後部座席手すり部分に、マップケース(両側に携帯無線機を収納可能)を取付ける。
- (5) 前部座席及び後部座席の左右に、任意に点灯・消灯できるマップランプを4ヶ所取付ける。(LED型フレキシブルタイプ)
- (6) 運転席と助手席との間にスチール製のコンソールを取付け、当組合が指定する機器を体裁よく取付けること。(コンソールの形状は当組合と協議)
- (7) キャビン室内天井は、配線等点検に便利な構造とし、パイプ棚及びネット収納を4ヶ所取り付けること。(ネット収納の大きさは当組合と協議)
- (8) 樹脂製のサイドバイザーを4つのドアに取付ける。
- (9) 後部座席乗降のための取手を後部キャブ内側及び外側の左右に取付ける。
- (10) キャブ内天井に室内灯(LED型)を取付け、スイッチはドアと連動しない構造とする。
- (11) 泥よけを全輪に取付ける。
- (12) 前席中央部に、集中ボックスを取り付けること。(サイレンアンプ・機能集中操作スイッチ・消防無線装置・各警報スイッチ[停止スイッチ付]をダッシュボード又は上部等に埋め込む構造とする。)
- (13) 車両動態監視装置(AVM)を、キャビン内へ取付け、簡易型AVM連動装置を左右車外無線通話装置ボックス内へ取付けること。
- (14) 標準スイッチの他に、「火災出動」と銘板したスイッチを配備し、電子サイレン、回転灯、警鐘、標識灯が同時稼動するものを運転席、助手席の操作しやすい場所に設けること。なお、各作動の停止は、機能集中型10連スイッチにより停止できるものとする。
- (15) 前部座席後方にステンレスパイプを手摺兼用として設け、地図入れボックスを後部座席のレッグスペースを考慮して設け、脱着可能なS字フックを16個取付けること。なお、当組合指定箇所にパンチングプレートを設け、脱着可能なJ字フックを6個取付けること。
- (16) キャビン内にモーターサイレンの押しボタンスイッチを設けること。
- (17) キャビン内に広報用ワイヤレスマイクを設け、キャビンルーフ上のスピーカーから出力できること。
- (18) 左右シャッター、各ボックスの開閉状況表示灯等の警告灯を設けること。なお、全て

の警告灯類はできるだけまとめて設置すること。

(19) 消防章を車両前面に取付けること。

(20) 車両周囲の安全を確認するため、キャブ内の前席上部に車両の前後左右の4方向を映し出す全周囲モニターを設けること。モニターの中心に消防車のアイコンを表示し、投影方向が確認しやすい表示方法とすること。また、ドライブレコーダー機能付とすること。

4 付属品

(1) スペアタイヤ(オールシーズンラジアルタイヤ・ホイール付)

(2) タイヤチェーン(シングルスタッドレス用)

(3) 車両けん引用ワイヤーロープ(ナイロン製可)

(4) 標準工具[標準品]

(5) 前後席フロアマット

(6) 車輪止め(ゴム製・黄色)

※その他メーカー標準仕様及び付属品

第3 ポンプ関係

1 概要

(1) ポンプ性能 A-2級(受託検定合格品)

(2) 水槽容量 1,500リットル以上

(3) 泡消火薬液槽 500リットル以上

2 主ポンプ

(1) 主ポンプは、あらゆる回転状態、吸水、落差、放水量及び圧力においても振動、高発熱、異音及び漏れのない構造とする。又、ポンプ材質は車体全体の軽量化を考慮し、アルミ製とすること。但し、砂利等の混入にも対応できるよう強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅鋳物製(BC製)とすること。

(2) ポンプ性能は次の放水性能を有するものとする。

規格放水圧力 0.85MPaにて2.0m³/min以上

高圧放水圧力 1.4MPaにて1.4m³/min以上

(3) 動力伝導装置は、クラッチハウジングとトランスミッションの間にポンプミッションを設け、操作は運転席のスイッチ等により容易に動力の接・断ができるものとする。

(4) グランド部及び軸先端部はグリスレスのメカニカルシールとし、不凍液やオイル等の継ぎ足しも不要な構造とすること。

(5) ポンプの配管は内径75mmとし、中間に緩撃用ジョイントを使用して75mmボールコックを装置し、車体両側より開閉操作できるものとする。なお、タンク吸水ボールコックに注油できるカップを側板に設けるものとする。

3 真空ポンプ

(1) 真空ポンプはスペースの有効利用及び軽量化及びメンテナンス性の観点から真空ポンプを用いず、エゼクター方式を用いること。消火泡圧縮吐出装置のコンプレッサーから吐出される空気を利用して真空状態を形成し、揚水できる構造とすること。操作は押ボタン式スイッチによるものとする。

(2) 動力伝導装置は、電磁クラッチ等により動力を伝導する構造とし、自動揚水装置を取付ける。

(3) 操作は、左右側板計器盤内の操作ボタンにて可能なものとする。また、右側板に手動式のもの設けること。

(4) 性能は、吸管閉塞にて30秒以内に大気圧の84%以上とする。

4 ポンプ不凍装置

ポンプ不凍装置を設け、ポンプ不凍液注入装置を取付ける。

5 冷却装置

タンク循環式冷却水装置を設ける。

6 吸水口、吐水口及び中継吸口

(1) 吸水口は、75mmボールコック(内部ストレーナー付)両側に各1個設け、ダブルスーパーエルボ(スーパースイングモデル)を両側に各1個取付け、75mm×10mの自在型吸管を車両左右両面の中央部付近に常時接続する構造とし、取り扱いが容易である構造とする。(連続吸水装置付)

(2) 吐水口は、65mmボールコック付を車両左右側面に各2箇所取付ける。(吐水口の取り付け位置は、当組合と協議すること)また、吐水管は、65mmとし、車両左右側面に流量計を設け、逆流防止弁より左右に各1個、車両右側面に積算流量計の検出装置を取付ける。

(3) 中継吸口は、65mmボールコック付(内部ストレーナー付)中継吸口を両側に各1箇所取付けるとともに、65mm町野式覆冠(鎖付)を設ける。

7 泡消火薬液混合装置

(1) 装置はポンププロポーション方式とし、泡消火薬液の種類に応じ、適正な混合比

を常に確保することができる構造であり、かつ、簡便に操作できるものであること。また、自動式のものにあつては手動でも操作できる構造であること。

(2) 洗浄が容易にできるものであること。

(3) 混合比例装置の性能は、最大混合能力が毎分1,200リットル以上、かつ、適正混合流量範囲は最大混合能力から毎分500リットルまでの範囲を包含するものであること。

(4) 泡消火薬液圧送用ポンプの配管に安全弁を設けてあること。

(5) 混合比はメタリングバルブにより調整できるものとし、混合液量範囲は500L/min～1,200L/minとする。(3%・6%併用とする)

8 圧縮空気泡吐出装置(CAFS装置)

装置は、水ポンプ装置から圧送された水を利用して、混合器で作られた水と消火剤の混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、車体左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイで泡放射に関する全ての操作が可能なこと。また、泡吐出圧力は、0.3MPa～1.0MPaまで、ポンプ圧力は0.3MPa～1.5MPaまで無段階調整ができるものとし、吐出泡流量はスロットル操作に応じて任意に調整できる事。

(1) 混合倍率の切り替え機能

気水比が5倍～10倍の消火及び火炎鎮圧用湿式泡(ウエット泡)と、気水比が16倍～20倍の延焼防止及び残火処理用乾式泡(ドライ泡)の2種類の泡を、泡管鎗を用いることなく、左右の水泡兼用吐水口より放射可能な構造とする。

(2) 圧力調整機能

水ポンプ装置から高い圧力を受けても1.0Mpaに減圧される構造とすること。また、中継口より受水した場合でも使用可能な構造とし、中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイに低圧中継警告表示が点滅すること。

(3) 性能

最大水流量600L/min以上、最大空気吐出量3,200L/min以上とし、最大泡吐出量3,800L/min以上の能力を有し、2線同時に放射しても十分な吐出量が得られること。

(4) 操作方法

本装置は、左右のパネルスイッチ式液晶ディスプレイにて容易かつ集中して操作ができる構造とすること。また、湿式泡(ウエット泡)、乾式泡(ドライ泡)及び泡原液濃度の切り替え操作は、ディスプレイにてワンタッチで行えるものとする。なお、切り替え及び変更操作は放水中でも可能な構造とすること。また、CAF S操作中は左右ポン

プ操作盤液晶ディスプレイに、泡流量計、混合圧計、気水比、泡質、原液濃度・水使用量を表示すること。機能上の問題が生じたときは、液晶ディスプレイにエラー情報を表示すること。

(5)安全機能

装置運転時に適正な回転数を保持するための過回転防止装置を設けること。またコンプレッサーの油温が異常に加熱したときは、それを知らせる警報を発する機能を有すること。

(6)コンプレッサー

真空形成装置兼用とし、オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサー(国産品)とする。コンプレッサーの冷却は、補助冷却器により潤滑油を冷却する構造とし、冷却に使用した水は水槽へ還流するものとする。また、冷却水を大気放出する事が出来る切り替えコックを取付けること。なお、油温計はポンプ操作液晶ディスプレイに表示可能なこととする。

(7)混合装置

圧縮空気流量を感知して、コンピュータ換算により自動的に泡原液量を調整して混合比設定する電子式比例混合式とする。混合比は液晶ディスプレイでワンタッチで変更可能な機能とすること。また、混合比の変更は放水中でも可能なものとする。原液濃度の設定は、0.3～1.0%の8段階の設定可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイで設定ができること。本装置での泡消火作業は、ポンプ左右の水ポンプ吐水口を使用し、ポンプ操作盤の操作により、容易に泡放射と水放水の切り替えが可能な配管構造とすること。

(8)泡薬液

泡原液は、環境に優しい環境保全型消火薬剤「ミラクルフォームα+」とし、ポンプ室内に交換容易なポリタンク(20L)式の原液容器を設置すること。消火作業中の泡液の補給を容易に行えるよう、固定型の原液槽は設けないこと。また、吸液コックの操作で外部吸液と切り替えができる構造とすること。なお、泡原液は、日本消防検定協会の型式を取得し、かつ個別検定に合格したものとする。

9 水 槽

(1)水量は、1,500リットル以上としてスチール又はステンレス製角形(厚さ:側板4.0mm以上、底部6.0mm以上、上部4.5mm以上)で水圧に対し変形及び水漏れのない構造で、車体に固定し、内部に防波板を設けること。スチール製の場合は亜鉛メタリコン処理を施すこと。また水槽内部は、清掃、塗り替え等に便利な構造であること。

- (2) 上部にマンホール及びオーバーフローパイプを設け、下部にはドレンパイプを取付けること。
- (3) 車体両側に補給口として、65mm町野式雌媒介(蓋付)とする。
- (4) 車体後下部にオーバーフローパイプを設けること。
- (5) 車体両側に水量計(アクリルパイプ、ステンレスカバー付)を各1個設けること。
- (6) タンク水使用時、使用中の流量に応じて、残放水時間を左右ポンプ操作液晶パネルに表示出来ること。

10 泡消火薬液槽

- (1) 泡消火薬液槽は500リットル以上として、板厚3mm以上のステンレス鋼板又はこれと同等以上の強度及び耐食性を有するもので造られた密閉型で、必要に応じ内部に完全な間仕切りを設けるものとする。
- (2) 泡消火薬液槽は、振動、衝撃等により損傷、緩み等を生じないように車台に固定し、水圧に対して変形及び液漏れのない構造とすること。また、必要に応じ有効な防波板を設けること。
- (3) 原液補給用ポンプを付属させること。
- (4) 内部の清掃に便利な構造であること。
- (5) 泡消火薬液注入口、通気管、泡消火薬液の取出し口及び液量計を設け、底部に排液口を設けること。
- (6) 泡消火薬液が流動する部分の配管のうち、直管はステンレス又はこれと同等以上の強度及び耐食性を有するものとする。
- (7) その他の配管の部分及び接手、弁等並びに混合液の流動する部分は、腐食し難い材料で造られ、又は腐食に耐え得るように被覆すること。

11 吸 管

吸管は、車両の両側中央部付近の吸水口、吐水口の外周部に、円形に巻き付け収納できるものとし、すべてシャッター内部に収納できるものとする。

12 計 器 類

- (1) ポンプ圧力計 ポンプ室左右側板吐水口上部に各1個設ける。
- (2) ポンプ連成計 上記に同じ。
- (3) 流量計 上記に同じ。
- (4) 真空計 ポンプ室右側板に1個設ける。
(他の計器により真空度を計測可能な場合取り付けないものとする。)

- (5)揚水表示灯 ポンプ室左右側板に各1個設ける。
- (6)積算流量計 ポンプ室右側板吐水口上部に1式取付ける。

13 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は操作員が容易かつ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとする。

- (1)圧力計・連成計(リタード式)はステッピングモータを用いた電子式(透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付)とし、振動等でも針振れがない構造とする。
- (2)ポンプスロットルは電子式スロットルとし、スロットルの作動状態については、多目的液晶ディスプレイに表示する。
- (3)ポンプスロットルは、誤作動を防止するために左右とも右回転でスロットルアップとする。
- (4)多目的表示ディスプレイは次の3種類が表示できるものとする。

取扱表示	機器取扱・点検整備・故障対策等の文書表示
モニタ表示	1 冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示 2 各ボールコックの開閉状況 3 揚水・放水の状況・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計・積算流量計・ポンプ回転計・ポンプ使用時間計をデジタル数値による表示
流水表示	1 各ボールコックの開閉状況 2 ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況を表示

- (5)非常時における真空ポンプおよびスロットル操作は、ボディ右側に設けられた別回路の手動操作装置で行えるものとする。
- (6)ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向(スロットルダウン)には操作出来るものとする。

イ 自動調圧設定機能

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧以下になった場合は設定圧まで圧力を上昇させ、設定圧以上になった場合は設定圧まで圧力を下げる自動調圧装置をポンプ集中操作盤内で操作できること。又、ポンプ集中操作盤パネルで設定圧力を7段階(0.4MPa～1.0MPa)呼び出し、ワンタッチで圧力を設定するとスロットル操作なしで設定圧になる機能も有すること。

14 放水銃

ポンプ室上部に泡放水可能な管銃が取り付け可能な放水銃を一基取り付けすること。
(取り付け位置は当組合と協議すること)

15 自衛噴霧装置

車両左右に各3個自衛噴霧ノズルを設けること。

第4 ボディ関係

- 1 ボディ側板は、FRPを使用し、各ステップ及び床は縞鋼板にて端部周囲を折り曲げ加工した密閉型とし、点検手入れが容易な構造とする。最後部は、急傾斜地においても後部が道路面に接触しないよう斜めのカットした形状とすること。(細部は、当組合が指示する。)
- 2 ポンプ室左右の扉は、アルミシャッター式とし、下部格納ボックスは下開き(チェーンレス)ステップとして使用できる構造とし、スベリ防止の処置を講じ、腐食のないような材質を使用すること。(ただし、格納ボックスについては、当組合と協議すること)
- 3 水槽側板左右に、後部タイヤフェンダー上から立ち上げた格納ボックスを設け、可能な限り大型とすると共に、扉はアルミシャッター式とし、その内部は3段以上に仕切り、資機材を固定できるようにベルト(ワンタッチバックル、マジックテープ又はベルト式)を取り付けること。また各ボックスに水抜き穴を取り付けること。
- 4 左右後部タイヤフェンダー部分にステップ部分を設け、下開き(チェーンレス)ステップとして使用できる構造とし、スベリ防止の処置を講ずること。
- 5 車両の側面最後部の左右に資機材格納ボックスを設け、扉はアルミシャッターとし、その内部は合理的に仕切り、落下防止用マジックベルト等を取付ける。下部格納ボックス収納扉は下開き(チェーンレス)ステップとして使用できる構造とし、スベリ防止の処置を講ずること。(詳細は当組合が指示。)
- 6 車両側面資機材格納ボックス内にステンレス製パイプを取付け、S字フック(5個)を使用しロープ等を収納できる構造とする。
- 7 車両側面資機材格納ボックス内最後部にパンチングプレートを取付け、脱着可能なフックを10個取付ける。
- 8 各格納ボックス内に、扉と連動するLED照明灯を設けること。
- 9 各シャッターの接触面は特に入念な防水処置を施すこと。
- 10 ポンプ室左右に車外無線機用送受話器を設け、無線送受話器、スピーカー、簡易型AVM連動装置を取付けること。

- 11 ポンプ室上部及び水槽上部への昇降用ステンレス製梯子を車両後部に取り付ける。
(細部取付け場所・方法については別途協議)。別に昇降用の折りたたみステップを、LED照明装置付近左右にそれぞれ4個以上取り付けること。
- 12 キャビンルーフ部、ポンプ室上部及び水槽上部はアルミ縞板張りとし、ステンレス製のロープフックを7個以上取付け、アルミ製収納BOX縦長1個を設置し、空きスペース部分は上部での作業足場として使用できるよう加工すること。(大きさ等の詳細は、当組合が指示する。)また、キャビンルーフ部に取り付ける積荷用のカバーを付属すること。さらに外周部左右には、二段手すりと同様な強度を有するあおりを立ち上げた構造とすること。
- 13 ボディ上部に、三連梯子(8,700mm製)を手動式昇降装置に取り付け、積み下ろしは車両の後部とする。
- 14 三連梯子昇降装置の左側面に鳶口2本を取り付ける。
- 15 キャブ左側及び右側下部はワイドステップ仕様とし、バッテリー格納箱(扉付)を左側に設け、内部は引出し式とする。
- 16 左右キャブボディ間に、車輪止めを差し込み式にて取付けること。
- 17 車両後部に、ホースカーを取付け、積み下ろしは自動式昇降装置にて行うものとする。また、後部格納ボックスの扉は、ホースカーの収納、梯子操作に支障のないシャッター式とする。
- 18 ホースカーに、分岐管、差込雄々媒介、差込雌々媒介、管そうを取付けられる構造とする。
- 19 ポンプ室左右、車両後部・側面及びボディ上部収納BOXに、下記の付属品を収納又は、取付け収納する。(詳細は、当組合の指示による)
 - (1) 引上げ式スタンドパイプ(PS65S-800mmタイプ)
 - (2) 消火栓金具
 - (3) 消火栓開閉金具(T型・白色)一式、パール(溶接F・Hパール)
 - (4) 管そう2本、ノズル4個、放口媒介金具4個
 - (5) 発泡ノズル2本
 - (6) 金てこ1本・剣先スコップ1本
 - (7) 消火器
 - (8) 吸管2本、吸口ストレーナー2個、吸管ストレーナー2個、吸口ちりよけ籠2個、吸管枕木2個、吸管ロープ2本、吸水管スパナ(白色)2本
 - (9) 中継媒介金具(65メスネジ×65差込メス)2個

- (10)漏水止めバンド5個、ホースバンド5個(OH-1型肩掛けバンド付)、媒介1式、吐水口媒介4個、補修用塗料1缶、ホースブリッジ1組、防火防水シート1枚
- (11)発動発電機・移動式三脚・信号器付投光装置(収納袋型)1式を装備収納する。
- 20 各レバー、バルブ及びスイッチ等に名称プレートを貼る。
- 21 フロントガラス上部に、整備用支持持手を取り付ける。
- 22 フロントバンパー上にアルミ縞板を貼る。
- 23 LED照明又は黄色反射テープを、各ドア及び展開式ステップ等の厚み部分に取り付けること。(詳細は、当組合が指示)

第5 塗装及びメッキ

- 1 車体(キャビン・ボディ・シャッター)は、特殊化学液にて充分錆落の上、リン酸塩被覆を形成後、プライマー、パター、水磨き、サフェーサーを行い熱風乾燥炉にて充分乾燥させ赤色ウレタン塗装にて3回以上の吹き付けを行い、再び熱風乾燥炉にて充分乾燥させる。
- 2 水槽内面は、スチールの場合には亜鉛メタリコン塗装とすること。
- 3 車体下回りは、黒色塗装とすること。
- 4 外装砲金部は、附属品を含め上質のクロームメッキ仕上げ又は黒塗装を施すこと。
(詳細は、当組合が指示)
- 5 フロントグリル、ミラーカバーをメッキ仕様とすること。

第6 警音装置

- 1 電子サイレンアンプ(附属マイク含む)は集中ボックスに埋め込み、スピーカーは散光式赤色警光灯内蔵型として取付ける。
- 2 モーターサイレンを車両キャビン下部へ設置し、スイッチは、キャブ内の機能集中操作スイッチボックスに取付ける。(取付け位置については当組合と協議すること)

第7 照明装置・警光灯等

- 1 散光式赤色警光灯をキャビン上部に取り付け、車両両側あおりに、作業灯各2個、車両後部両側に作業灯2個を取付ける。なお、各スイッチは操作性の良い所に取り付ける。
(詳細は、当組合が指示)
- 2 LED点滅警光灯を、車両最後部に2個、車両前部グリル部にバランスよく2個、バンパー両サイドに各1個、車両両サイド上部にバランスよく各2個を取付けること。また、スイッ

チは、散光式赤色警光灯と連動させ、かつ個々にON・OFFができることとする。(詳細は、当組合が指示)

- 3 LED照明をキャビンとボディの間付近の左右に各1基を取付け、ライトの支持柱は手動式伸縮自在とし、スイッチは操作性の良い所を取付ける。(詳細は、当組合が指示)
- 4 路肩灯(後部の両側車輪照明灯の取り付け含む)、車幅灯(車両の両側最後部斜めカット部分の照明灯の取り付け含む)及びサイドフラッシャーを左右に各1個取付ける。
- 5 各格納箱(バッテリー・ポンプ下部ホースボックスは除く)内に、LED照明灯(扉開閉連動式スイッチとする)を取付ける。
- 6 標識灯は、散光式赤色警光灯の中央部を取付ける。形式は、内照明灯とし、スイッチをキャブ内機能集中操作スイッチボックスに取り付けること。
- 7 各照明灯は、必要に応じて保護枠を取付ける。(当組合と協議)
- 8 左右計器盤にLED照明を取付け、必要に応じて保護枠を取付ける。

第8 無線機

- 1 無線機(支給品)及び車両動態監視装置(支給品)を、隊長席前のダッシュボード付近へ取付ける。また、車両両側に無線通話装置(簡易型AVM操作盤)等をボックス内の装置板に埋め込み取付ける。
- 2 送受話器及びスピーカーを車内1個、車外通話用2個を車両両側に取り付ける。
- 3 無線機の送受話器及びスピーカーは両側板に設けた埋込型専用ボックス内に収納できる構造とすること。(サイズについては、当組合と別途協議とする。)
- 4 無線局に関する変更手続等は、全て受注者側が委任代行し、無線局免許等の関係書類を提出すること。

第9 記入文字

- 1 キャブ左右の後部ドアにバランスを考慮し、左方向から「比企広域消防本部」を表示する。文字は、丸ゴシック体とし、文字の色は法令に違反しない限り白色反射とする。(文字の大きさについては別途協議)
- 2 標識灯に「嵐山分署」と黒色で記入する。(文字の大きさについては別途協議)
- 3 キャビンルーフに対空表示文字をバランスに考慮し表示する。
 - (1)表示文字 「嵐山C」
 - (2)色 反射白文字 (文字の大きさについては別途協議)
- 4 運転席及び助手席ドア下部に、「嵐山1」と反射白文字(文字の大きさについては別途

協議)を表示する。

- 5 キャビン前部左前照灯の上、車両後部面の左下に「嵐山1」と白文字(文字の大きさについては別途協議)を表示する。
- 6 ボディの左右側面上部に「HIKI CHEMICAL FIRE ENGINE」と反射白文字(文字の大きさについては別途協議)を表示する。
- 7 車両の後部面に、「HIKI FIRE DEPT CHEMICAL RANZAN」をアーチ状(文字の大きさについては別途協議)白色で表示する。

第10 提出図書及び検査

1 提出図書

(1) 製作に先立ち、次に掲げる図書を提出し承認を受けること。(各2部)

- ア 製作工程表
- イ 艀装概要図
- ウ その他、当組合の指示するもの。

(2) 検査及び納入時に次のものを当組合に提出すること。(各2部)

- ア 検査成績書
- イ 取扱説明書及び整備解説書
- ウ 日本消防検定協会検定板の写し
- エ 車両外観図
- オ 納品書
- カ 陸運局への届け出書類の写し
- キ その他当組合で指示するもの。

(3) その他、消防庁長官及び知事への実績報告に関し、当組合より指示あるものについては遅滞なく提出するものとする。

2 検査

(1) 検査は、中間検査(仕上げ塗装後)及び、完成検査とする。

(2) 検査を受けようとする時は、検査予定日の2週間前までに検査日時、場所を書面にて連絡し、当組合の承諾を得ること。

(3) 納入時に機能検査及び完成検査を行うものとする。

(4) 検査の結果、当組合が不合格と認めた箇所については、直ちに修復のうえ再検査を受けること。

第11 納期

納期は、2020年2月7日までとする。

第12 附則

- 1 取付け品、取付け装置等については、前記述のほか、次表のとおりとする。
- 2 受注者は、本仕様書に定めない事項、及び疑義が生じた場合は、事前に調整を図り、当組合の見解に従い責任をもって施工及び製作にあたること。また、製作にあたり法令等抵触する事が判明した場合、速やかに当組合へ報告、協議すること。
- 3 保証期間は、完成車の納入後1年とする。ただし、製造及び販売業者が1年を超える保証期間を定める製品及び部品については、当該業者の定める保証期間とする。また、保証期間後といえども設計、製作及び材料不良に起因する故障等が発生した時は、無償にて修理等を行うものとする。

嵐山分署

災害対応特殊化学消防ポンプ自動車 取付け品等一覧

1 取付品及び取付装置

No	品名	規格・仕様	数量	備考
1	ポンプ圧力計		2式	
2	ポンプ連成計		2式	
3	エンジン回転計	標準装備	1式	
4	エンジン油温計	標準装備	1式	
5	赤色警光灯	FV10SHC	1式	1680mm
6	電子サイレンアンプ	TSK-D152	1式	
7	照明灯	LED PFP124P 75W	2式	
8	後退警報器		1式	
9	標識灯	赤色警光灯一体式	1式	
10	圧縮空気泡消火装置		1式	
11	空気呼吸器固定装置	助手席(埋込)1・後部席4	5式	

2 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No	品名	規格・仕様	数量	備考
1	電動サイレン	警光灯内蔵	1式	
2	真空計	他の計器により真空度を計測可能な場合取り付けないものとする。	1式	
3	積算流量計		1式	
4	キャブチルト装置	電動油圧式	1式	
5	オイルパンヒーター		1式	
6	不凍液注入装置		1式	
7	スタッドレスタイヤ	ホイール付	6本	
8	作業灯	PELCC24	6式	
9	車外無線送話機取出口	車両両側面	1式	

3 備えなければならない附属品

No	品名	規格・仕様	数量	備考
1	吸管	75mm×10m(軽量ソフト・LF-RS)	2本	
2	吸口ストレーナー	プラスチック製	2個	
3	吸管ストレーナー	町野式雄付	2個	
4	吸管ちりよけかご	プラスチック製	2個	
5	吸管まくら木	ゴム製	2個	
6	吸管ロープ	10mm×15m	2本	
7	消火栓金具(吸管引上金具)	吸管離脱器 PR-75	1個	マジックベルト付
8	消火栓開閉金具	T型(白)	1式	
9	吸管スパナ	スロッター型(白)	2本	
10	管そう	スーパーストリーム50mm標準型	1本	
		50mm短型	1本	
11	ノズル	20・23・26	各1	
		可変噴霧ノズル(ダブコン)	1個	
12	放口媒介金具	ANS-65MC AN-65MC	各2個	
13	発泡筒先	400型	2本	
14	とび口	グラスファイバー製	2本	
15	金てこ	白色塗装	1本	
16	剣先スコップ		1本	
17	車輪止	オールゴム製	4個	
18	消火器	自動車用(ABC粉末20型)	2本	取付含む
20	ポンプ工具		1式	
21	ホース	65mm×20m (軽量・緑色)	10本	
22	照明器具	発動発電機 (ホンダEU9i同等品) カネコ式信号器付投光装置 一式(投光器・三脚・収納袋)	1式	
23	空気呼吸器	NM30・ボンベ付(530CⅢ)	5式	ボンベカバー含む
24	予備ボンベ	530CⅢカバー付	5本	

4 軽微な変更として備えることができる附属品

No	品名	規格・仕様	数量	備考
1	タイヤチェーン	シングルバンド付	1式	
2	分岐管	マルチ分岐ボールバルブWB-65MC	2個	
3	ホースブリッジ	コンパクトブリッジCB450	1式	
4	ワイヤ	10mm×3m	1本	ナイロン製可
5	斧	グラスファイバー製	1個	
6	スタンドパイプ	PS65S-800	1個	

5 その他取付品及び取付装置

No	品名	規格・仕様	数量	備考
1	消防用無線電話装置	移設・取付け含む	1式	本体支給品
2	消防章	150mm	1式	
3	赤色点滅灯	WIONSMBR24	2個	フロント
		M7FCR	6個	リア・サイド
4	パワーウインド	全席左右ドア	1式	
5	電磁ドアロック	助手席、後席	1式	
6	パワーミラー	助手席側	1式	
7	万能バール	F・Hバール	1本	
8	アルミ製ボックス	サイズは当組合と協議	2個	上部設置
9	漏水止めバンド	マジックテープ式	5個	
10	ホースバンド	OH-1型肩掛けバンド付	5個	
11	防火防水シート	シルバー	1枚	
12	媒介	65mm雌×雌・雄×雄 町野式	各1	
13	異型媒介	65mmメス×50mmオス 町野式	2個	
14	ストップバルブ	TS黒	1個	
15	携帯用拡声器	TS-633R	2個	
16	補修用塗料	朱色10缶	1缶	
17	車両動態監視装置	AVM装置(支給品)	1式	配線・側面取付け含む
18	機能集中スイッチ	大阪サイレンSBW-100	1式	
19	吸管用媒介金具	ダブルスノーベルモデル	2個	

20	中継用媒介金具	65mmメスねじ×65差込メス	2個	
21	工具箱セット	KTC SK348S	1式	
22	ホースカー昇降装置	油圧自動式	1式	安全装置・昇降用スイッチ付
23	保安用品	伸縮式コーン	5個	
24	坂道発進補助装置	ESスタート	1式	
25	ホース運搬具	ホースキャリアバック	2個	
26	携帯警報器	モーションスカウト	5個	
27	クロスバー	TRX-167	1式	
28	現場調査用具	現場見取図版KS-50A	1個	
29	エンジンカッター	パートナーK970レスキュー	1式	
30	チェーンソー	ハスクバーナ 572XP-20RT	1式	
31	ジェットシューター	ジェットシューターS	5個	
32	特殊ノズル	エコファイター	1個	
		クアドラフオグノズル	1個	
33	特殊ノズル用ホース	50mm×20m(緑色)	10本	
34	三連梯子	8,700mmステンレス製	1式	
35	応急処置用セット	消防車EMセットA型	1式	
36	全周囲モニター	クラリオン製サラウンドアイ 4-MC7 7インチモニタ ドライブレコーダー付	1式	同等品可
37	ワイヤレス放送設備	ユニペックス NDW301 WM3400・AA3800B	1式	
38	泡薬液	泡消火薬剤原液 400ℓ	1個	
		ミラクルフォームα+	3個	
		トレーニングフォーム	3個	
39	原液補給用手動ポンプ		1個	
40	ホースカー	加納式ホースカー	1式	
41	放水銃	クロスファイヤー放水銃 マスターストリームノズル LX-Mフォームジェット付属	1式	
42	積荷カバー	キャビンルーフ用	1式	